

第6分科会

分科会名

「多様性のなかの『学びと自治』」

～地域の担い手の育ちと違いを認め合う多様性のある地域づくり～

協議の柱

午前中の全体会を受け、「地域で暮らす様々なひとびとが活躍できる多様性のある地域づくりとは？」を「学びと自治」の視点から考えます。

1 当日までの分科会運営委員会等での議論

分科会運営委員会では、基調講演（全体会）のパネリストの方にも参加していただき、寿台ハッピー食堂、なかやま体験フェスタ、町内公民館を会場にした英語教室の3つの事例の中で、「学びと自治」がどのようにして育まれてきたのかを考えました。

この3事例から、それぞれ違った立場の多様な人たちが協働し、共通の課題に取り組むことで、地域の担い手が生まれ、多様性のある地域づくりが推進されていることがわかりました。私たちの暮らす社会（コミュニティ）には性別や世代、国籍、障がい、そして地域や町会内などの中での異なる意見や価値観といった様々な多様性があります。分科会では、多様性とはどういうことなのかを改めて考え、お互い違った立場の人たちを知ることで、全ての住民が地域づくりに参加し、活躍できる地域づくりについて考えます。

2 分科会の進め方

基調講演（全体会）で扱う3事例を軸に分科会を進めさらに参加者の理解を深めます。

まずは、松本市の現状を客観的に学ぶため、事例に関連した松本市のデータ等を読み解き、地域の様々な人びとが活躍できる多様性のある地域づくりとは何なのかを「学びと自治」の視点から考え、グループ討議によりさらに議論を深めます。

それらを共有しながら、参加者が自分事として地域の人と一緒に考えられるきっかけをつくり、地域に即した取り組みにつなげていきます。

アドバイザー・コーディネーター

松本大学 総合経営学部 観光ホスピタリティ学科 准教授

向井 健 氏

プロフィール

千葉県出身。埼玉大学教育学部、埼玉大学大学院、北海道大学大学院を経て、2015 年より松本大学総合経営学部にて専任講師として着任。2021 年より現職。専攻は、社会教育学・地域福祉論。現在、松本大学学生とともに、様々な地域づくりの活動に取り組んでいる。

コメンテーター

松本大学 総合経営学部 観光ホスピタリティ学科 教授

松田 武雄 氏

プロフィール

大阪市生まれ。名古屋大学教育学部卒業、同大学院教育学研究科博士後期課程単位取得満期退学。琉球大学助手・講師、埼玉大学教育学部助教授、九州大学助教授・教授を経て、2008 年名古屋大学教育発達科学研究科教授となり、長年、松本市の町会や町内公民館を訪れ調査研究を行う。2017 年退職、名誉教授。中村学園大学教育学部教授を経て 2021 年から松本大学総合経営学部教授。

報告者

寿台ハッピー食堂

設楽 秀子 氏

プロフィール

松本市寿台在住。2016 年、寿台児童館在籍中に仲間と「ハッピー食堂」を立ち上げる。その後、地域と児童館が連携をしながら運営を行い、今年で6年を迎える。2018 年には全国の児童館・児童クラブ向けの「遊びのマルシェ」にて、プログラムアドバイザーとして活動を紹介、「子ども食堂」が「遊びのプログラム」の一つに登録される。現在は旭町放課後児童クラブに勤務。児童厚生一級特別指導員、長野県福祉大学校非常勤講師。

報告者

なかやま体験フェスタ

小岩井 速人 氏

プロフィール

なかやま体験フェスタ実行委員長、中山地域づくり協議会活性化部会長、埴原東町会長。1954 年松本市中山生まれ。高校卒業後、大阪府の企業に勤務し、平成 17 年に生まれ育った中山に帰郷。平成 26 年より文化委員に就任し、翌 27 年より令和元年度まで5年間に亘り文化委員長を歴任し、中山地区の文化活動を牽引して来た。令和 2 年より中山地区埴原東町会の町会長に就任し、合わせて中山地区地域づくり協議会地域活性化部会長を兼務する。

報告者

中信多文化共生ネットワーク

野村 ロセルダ 氏

プロフィール

フィリピンのミンダナオ島、ダバオ市生まれ。現在は中学生と小学生の二人の子のお母さん。仕事はフリーランス ESL 教師。松本市の多文化共生プランキーパーソンへ登録。子育てしながら、CTN（NPO 法人中信多文化共生ネットワーク）、PTA、地域での多文化共生実践活動に積極的に取り組む。